

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

1. 実施した計画の基本的な事項

(1) 基礎情報

ア. 対象地域

構成市町村等名	男鹿市					
地域内総人口（人）	27,361					
地域総面積（km ² ）	240.80					
地域の要件	過疎	半島				
地域の要件がその他の場合は具体的に記載						
構成市町村に一部事務組合等が含まれている場合、当該組合の状況						
組合名称（設立年月日）						
組合を構成する市町村						

イ. 計画実施期間

開始年月日	令和2年4月1日
終了年月日	令和7年3月31日
計画期間	5年

2 目標の達成状況

(生活排水の処理)

生活排水処理に関する指標		平成30年度現状		令和6年度		令和6年度実績	
		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
処理形態別人口	公共下水道	14,533人	53.1%	16,017人	65.6%	14,511人	62.7%
	農業集落排水施設等	1,373人	5.0%	1,322人	5.4%	1,171人	5.1%
	合併処理浄化槽等	1,151人	4.2%	1,106人	4.5%	1,045人	4.5%
	小計：汚水衛生処理人口	17,057人	62.3%	18,445人	75.6%	16,727人	72.3%
	単独処理浄化槽等	人	0.0%	人	0.0%	人	0.0%
	非水洗化人口	10,304人	37.7%	5,955人	24.4%	6,419人	27.7%
	小計：未処理人口	10,304人	37.7%	5,955人	24.4%	6,419人	27.7%
合計：総人口	27,361人	100.0%	24,400人	100.0%	23,146人	100.0%	
し尿・汚泥の量	汲取りし尿量						
	浄化槽汚泥量						
	合計	キロリットル		キロリットル		キロリットル	

2 目標が達成できなかった要因

公共下水道処理区域内及び農業集落排水処理区域内においての未接続理由としては、高齢者世帯の増加や物価の高騰に伴い、改築のコストの面から着手を見合わせていることが要因と考えられる。
下水道接続工事や集落排水接続工事は、高齢者には経済的負担が大きく、高齢世帯が多い当市では、水洗化工事に躊躇する傾向が見られた。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 11年度まで
当市の美しい海や湖を後世に残す一つの方策として、未処理人口の減少が有効と考えられる。自然環境に対する意識を啓発し、優先順位の高い事柄であるという認識を市民に持ってもらうよう、市ホームページや広報を通じ、情報を発信していきたい。

(都道府県知事の所見)

合併処理浄化槽の普及拡大については、環境保全に対する意識を高め、県民と行政とが一体となって進めていくことが重要である。啓発活動を積極的に推進することで、目標を達成するよう努めていただきたい。

※令和6年3月31日までに承認された地域計画については、なお従前の様式にて提出できるものとする。